

### めざす子ども像

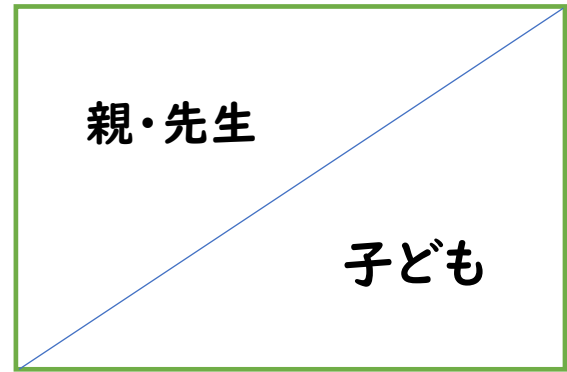
子育て4訓：手を離せ、目を離すな(少年期)  
子どもに任せる時、寄り添わないといけない時の見極め

【教育目標】  
命を大切に、豊かな心をはぐくみ、  
たくましく生きる子どもの育成をめざす。



小さな失敗をしながら  
自分で自分をアップデートできる子

学年が上がるにつれ、「学  
びの積み上げを生かして」  
様々なことを、自分で考え、  
自分で行動することができ  
るようになる。  
自分の力で挑戦しようと  
する子どもを、親や先生は励  
ましの声をかけながら、見守  
り支援する。



1 年

6 年

### ☆「めざす子ども像」に向かうために必要な学力とは？

学 力 ⇒ 社会の中で、自分で自分をコントロールできる力

### 学校教育活動 (人格の完成を目指す)

教科教育による認識の統合を中心にして、まわりと関わりながら人格形成していきます。

長い歴史の中で  
人類が作り出し、練り上げてきた  
最高の文化遺産を  
継続・発展させていくために

**教育課程**  
学習内容を教科ごとに分け、  
子どもの発達段階に応じ  
順序よく教え、考えさせていく。

**学習指導要領**  
・知識・技能(継続)  
・学びに向かう姿勢・人間性等(継続・発展)  
・思考力・判断力・表現力(継続・発展)

↓

こころ豊かで自立するひとづくり  
「未来への道を切り拓く力」の育成 (兵庫県教育委員会)

自分で

P  
D  
C  
A

(計画・実行・評価・改善)

を  
回せる子

【教科学習を通して】 ⇒ **認知能力**  
⇒ 言葉・数概念・自然のきまり・社会のしく  
み・音楽・図工・体力 etc  
⇒ 学習したことをリンクさせる ⇒ 認識力 UP!

【仲間との関わりを通して】 ⇒ **非認知能力**  
⇒ 自己有用感・自己肯定感  
⇒ 自立心・自制心・協調性や共感性  
⇒ 意欲や自信

《響き合うそのだ》 → R6 湧き上がるそのだ  
○兄弟学級を土台にして、感謝や憧れの気持  
ちを育てる。  
○クラスにおける友だちとの関わり  
○幼保小中のつながりを密にして  
○地域の方との関わりの中で

○日々の学習の中で

- ・各教科でわかったこと等を、次場面で考えたり、他のものとリンクさせたりする。
- ・わからなかったこと、できなかったことを自分たちで粘り強く考える。与えられた課題(宿題等)にきちんと取り組む。

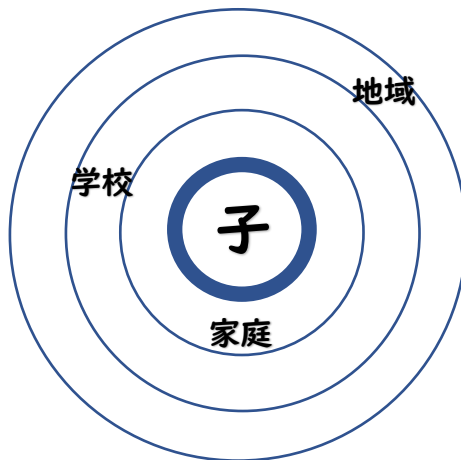
寛 涵 2つの  
容 養 カン  
育 む ヨウ

○仲間と交流する中で(喜怒哀楽がある)

- ・「ああでもない、こうでもない」の時間が大切。
- ・達成感を得る。反省の心を持つ。
- ・他者理解ができる(ちがいを認め、思いやりの心を持つ)。
- ・仲間と協力して学校生活を送る。

子どもを真ん中にして  
私たち教職員と保護者のみなさんが  
スクラムを組んで  
子どもたちを育てていきたい。

⇒ みんなの学校



子どものすこやかな成長に欠かせない土台

**規則正しい生活**

- ・早寝早起きの習慣を!
- ・偏りのない食事(朝ごはんは必ず摂るなど)
- ・仕事(係)等を通して、見通しの力を!

**本物を感じる(実体験)**

- ・五感を使って、まわりを知っていくこと